



# 神小だより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校  
学校だより 6月号  
保護者・地域版  
H28. 6. 10



## 「多くの人に支えられているということ！」

校長 鈴木 正彦

さわやかな初夏を迎える季節となりました。神山小学校では、5月28日(土)に運動会が行われました。運動会スローガン「赤組・白組 仲間を信じ 心を一つに 優勝めざせ」を掲げて、赤組、白組に分かれて、精一杯走り、歌い、応援し、すばらしい運動会となりました。その証拠に、競技の部では最後の上学年リレーを残しての点数が、赤776点、白771点でその差わずか5点でした。(上学年リレー終了後は、赤816点、白841点で白組の優勝。)また、応援の部では、赤組363点、白362点、その差何と1点で赤組の優勝。まさに、今年の運動会は、赤組と白組の力の差が出ないほど、お互い全力を出し切ったのではないのでしょうか？

保護者、地域の方々のたくさんのご声援、本当にありがとうございました。

ところで、今年の運動会は前日、前々日と雨が降りました。時折激しい雨も見られ、前日のお昼ごろまで続きました。そのため、グラウンドに水が溜まり、そのままではいくら天候が晴れになっても、とても運動会ができない状態でした。



それでは、なぜ、運動会が実施できたのでしょうか？

それは、4、5、6年生のみなさんが、前日に一生懸命にグラウンドの整備をしてくれたからです。大きめのスポンジに水を吸い取らせ、バケツに絞るという作業を何度も何度も繰り返し、グラウンドの水を取ってくれました。同時に、グラウンドの石を拾ってくれたり、本部のテントの組立作業を手伝ってくれたりしました。

そのおかげで無事グラウンドが整備され、運動会が実施できました。もちろん、運動会が実施できた理由は、こればかりではありません。5月9日には、PTAの皆様による除草作業、運動会当日も、PTA専門部の皆様からは用具係のお仕事、神山小卒業生が協力してくれてた借り物競走等、多くの人々から支えられて運動会が実施できました。

さて、多くの人たちに支えられているのは、運動会だけではありません。実は、私たちは本当に多くの人から支えられて生活しています。神山小学校においては、各担任の先生方がよりよい授業を目指して、毎日一生懸命、時に夜遅くまで準備をしています。保健室の先生は、子どもたちがいつでも健康に過ごせるよう、保健室の整備やおたより等を作っています。用務員さんは、毎日学校をきれいに整備をしています。子どもたちが大好きな給食も、栄養士の先生が考えた献立を、調理員さんが大きなお鍋で調理しています。

そして、何と言っても神山小学校の子どもたちを一番支えているのが、お父さんやお母さんを始めとする保護者の皆様、地域の方々です。子どもたちの健やかな成長を願って、一生懸命に働いて支えてくださっているおかげで、子どもたちは元気に神山小学校へ通うことができます。

保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございます。

「多くの人から支えられて生活している」ことを忘れないよう、そして、自分を支えてくれている人に対して感謝の気持ちをもつよう、これからも子どもたちに伝えていきたいと思えます。

「ありがとう」の言葉があふれる、すてきな神山小学校を目指して。